

徳賀 芳弘 教授 略歴

学 歴

1978年：九州大学経済学部卒

1983年：九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得

1990年～1992年：米国ワシントン大学経営大学院客員研究員

1999年：博士（経済学・京都大学）

職 歴

1983～1987年：熊本商科大学専任講師

1987～2000年：九州大学経済学部助教授

2000～2002年：九州大学大学院経済学研究院教授

2002年～現在：京都大学経済学研究科教授

2006年～現在：京都大学経営管理研究部教授

2009～2011年：京都大学財務担当理事補

2012～2014年：京都大学経営管理研究部長・教育部長（経営管理大学院長）

2014～2015年：東アジア経済研究センター長，京都大学財務担当理事補

2014～2015年：京都大学財務担当理事補

2015～2020年：京都大学副学長

社会的活動

1997～2001年：通商産業省・大規模小売店舗審議会特別委員

1999～2001年：大学入試センター試験問題特別専門委員会委員

2000～2002年：福岡県大規模小売店舗審議会委員

2001～2003年：大学入試センター教科科目第二委員会委員

2002～2004年：経済産業省「企業会計の国際対応に関する研究会」委員

2003～2006年：金融庁・公認会計士第二次試験出題委員

2004～2005年：経済産業省「企業会計研究会」委員

2005～2009年：企業会計基準委員会専門委員

2005～2009年：独立行政法人大学入試センター教科科目第二委員会・部会長

2006～2014年：日本学術会議連携会員

2007～2009年：国税庁・税理士試験委員

2007～2012年：財務会計基準機構理事

2010～2011年：日本銀行金融研究所客員研究員

2010年～現在：神戸大学経済経営研究所リサーチフェロー

2012年～現在：名古屋大学経済学研究科・外部評価委員

2013年～現在：神戸大学経済経営研究所・外部評価委員
2013～2017年：金融庁・企業会計審議会臨時委員
2013～2016年：文部科学省・大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）専門委員
2014～2016年：関西電力（株）京都支店エネルギー懇話会委員
2014～2020年：日本学術会議会員・経営学委員会委員長
2016年～現在：金融庁・公認会計士・監査審査会非常勤委員
2016～2017年：大学評価・学位授与機構 国立大学教育研究評価委員会専門委員
2016～2017年：ABEST21 理事
2017年～現在：ABEST21 常務理事
2012年～現在：企業会計基準委員会委員
2017～2018年：日経・経済図書文化賞推薦委員会委員
2017年～現在：デザインイノベーションコンソーシアム監事
2018年～現在：大学改革支援・学位授与機構 国立大学教育研究評価委員会専門委員
2019年～現在：金融庁・企業会計審議会会長
2019年～現在：ABEST21 認定評価部門 2019年度 Review Team 委員
2019年～現在：日経・経済図書文化賞審査委員

専 門

財務会計，国際会計，会計監査，企業分析

受 賞

1997年：日本会計研究学会「学会賞」（論文：「利益数値の国際比較方法」）
2000年：日本会計研究学会「太田・黒沢賞」（著書：『国際会計論』（中央経済社））

学会役員等（国内）

[日本会計研究学会]

2009～2012年：理事・国際交流委員会委員長・学会賞および太田黒澤賞審査委員
2012～2015年：理事・国際交流委員会委員長・学会賞および太田黒澤賞審査委員
2018年～現在：会長

[国際会計研究学会]

2008～2011年：理事・学会賞審査委員
2011～2014年：理事・学会賞審査委員
2017年～現在：理事

[国際公会計学会]

2004～2007年：理事
2007～2010年：副会長・学会賞審査委員
2010～2013年：副会長・学会賞審査委員長

2013～2016年：理事
2016～2017年：理事
2017～2019年：会長
2019年～現在：理事

[日本会計史学会]
2005～2007年：理事

[会計理論学会]
2002～2005年：理事
2005～2008年：理事
2011～2013年：理事
2013～2017年：理事

[経営関連学会協議会]
2018～2019年：理事長

学会役員等（国外）

[IAAER (International Association of Accounting Education and Research)]
2010～2013年：Vice-president
2014～2016年：Vice-president

[AAAA (Asian Academic Accounting Association)]
2012～2013年：President

徳賀 芳弘 教授 著作目録

著 書

[単著・共著・編著]

- ・ *Accounting Regulation in Japan: Evolution and Development from 2001 to 2015*, Yoshihiro TOKUGA and Masatsugu SANADA, Routledge, 2019
- ・ 『京都企業—歴史と空間の産物—』(編著), 中央経済社, 2016
- ・ 『財務会計研究の回顧と展望』(大日方隆との共編著), 中央経済社, 2013
- ・ 『企業会計の基礎概念』(斎藤静樹との共編著), 中央経済社, 2011
- ・ 『京都企業の分析』(監修), 中央経済社, 2011
- ・ 『会計基準の国際的統一』(平松一夫との共編著), 中央経済社, 2005
- ・ 『年金会計とストック・オプション』(伊藤邦雄・中野誠との共著), 中央経済社, 2004
- ・ 『構造変化と金融・経済』(堀江康熙との共編著), 九州大学出版会, 2002
- ・ 『国際会計論』(単著), 中央経済社, 2000
- ・ 『負債の定義と認識』(J.St.G. カー著 徳賀芳弘訳), 九州大学出版会, 1989

[分担執筆]

- ・ 『会計基準のコンバージェンス』(平松一夫・辻山栄子責任編集・体系現代会計学第4巻)「第9章 負債と資本の区分」, 275-328頁, 中央経済社, 2014
- ・ 『日本のもの造り組織指向の会計と国際会計』(シャム・サンダー・山地秀俊編著)「公正価値会計の意味—概念の明確化と経済社会へのインパクト」, 121-164頁, 神戸大学経済経営研究所, 2009
- ・ 『財務情報の信頼性』(友杉芳正・田中弘・佐藤倫正編著)「「信頼性」から「忠実な表現」へ変化の意味」, 22-30頁, 税務経理協会, 2008
- ・ 『日本型 MOT—技術者教育からビジネスモデルへ—』(日置弘一郎・川北眞史編著)「技術等の価値評価」(192-200頁のみ田中伸との共著), 185-200頁, 中央経済社, 2004
- ・ 『アメリカ不正会計とその分析』(山地秀俊編著)「会計基準設定における姿勢の変化—エンロン事件のもたらす副産物—」, 1-22頁, 神戸大学経済経営研究所, 2004
- ・ 『近代会計と複式簿記』(土方久編著)「国際会計基準の概念フレームワーク」, 142-155頁, 税務経理協会, 2003
- ・ 『会計基準の基礎概念』(斎藤静樹編著)「会計における利益観—収益費用中心観と資産負債中心観」, 147-177頁, 中央経済社, 2003
- ・ 『日中会計モデルの比較研究』(吉田寛監修)「第2章 比較会計研究の方法 第1節 会計比較の方法—日中の企業会計比較に向けて—」(潮崎智美・董曉梅との共著), 31-43頁, 及び「第2章 比較会計研究の方法 第3節 「日中の比較方法研究」の比較」(単著), 59-65頁, 税務経

理協会, 2001

- ・『制度会計の論点』（井上良二編著）第2部第4章「国際会計」, 277-295頁, 税務経理協会, 2000
- ・『制度会計の論点』（井上良二編著）第1部第3章「負債会計と資本金会計」, 91-99頁, 税務経理協会, 2000
- ・『国際会計基準と日本の企業会計』（醍醐聰編著）「引当金の評価」, 160-170頁, 中央経済社, 1999
- ・『国際会計基準と日本の企業会計』（醍醐聰編著）「負債・資本金会計のアポリアー国際会計基準の動向」, 123-136頁, 中央経済社, 1999
- ・『国際会計基準と日本の企業会計』（醍醐聰編著）「負債の評価基準の動向と展望」, 13-25頁, 中央経済社, 1999
- ・『現代会計の国際的動向と展望』（津守常弘教授還暦・退官記念著作編集委員会編）「国際会計の部：会計研究の動向」, 203-215頁, 九州大学出版, 1999
- ・『財務会計システムの研究』（興津裕康編著）「国際会計基準と日本の会計基準—「計算」と「情報」の「乖離」という視点から—」, 214-227頁, 税務経理協会, 1999
- ・『日本企業の会計実態』（松尾聿正・柴健次編著）「退職給付会計—日本企業の対応と会計データへの影響—」, 73-92頁, 白桃書房, 1999
- ・『21世紀の会計評価論』（中野勲・山地秀俊編著）「負債の公正価値評価—測定値の比較可能性という視点を中心として—」, 45-59頁, 勁草書房, 1998
- ・『現代経済システムの諸問題』（川口雅正・濱砂敬郎編）「会計制度・会計方法選択の国際的相違の調整とその意味」, 217-236頁, 九州大学出版会, 1997
- ・『グローバル経営会計論』（吉田寛・柴健次編著）「会計基準の国際的調和の現状と会計政策」, 278-299頁, 税務経理協会, 1997
- ・『現代経済学の革新と展望』（細江守紀・濱砂敬郎編）「会計基準の国際的調和化の意味」, 299-314頁, 九州大学出版会, 1994
- ・『現代社会と経営・経済指標』（津守常弘編）「会計上の『概念枠組』の意義と問題点」, 41-61頁, 海鳥社, 1990

[論文]

- ・のれんの規則的償却と減損, 『月刊 監査役』, No.699, 3頁, 2019
- ・のれんの会計処理に関する調査第4回, (宮宇地俊岳・山下知晃との共著), 『企業会計』, Vol. 71, No.10, 70-76頁, 2019
- ・のれんの会計処理に関する調査第3回, (宮宇地俊岳・山下知晃との共著), 『企業会計』, Vol. 71, No.9, 114-121頁, 2019
- ・のれんの会計処理に関する調査第2回, (宮宇地俊岳・山下知晃との共著), 『企業会計』, Vol. 71, No.8, 74-80頁, 2019
- ・のれんの会計処理に関する調査第1回, (宮宇地俊岳・山下知晃との共著), 『企業会計』, Vol. 71, No.7, 105-112頁, 2019
- ・誰も使わない一組の会計基準, 『会計・監査ジャーナル』, Vol.31, 2-3頁, 2019

- ・外生的会計基準の無機能化—ミャンマーについてのケース・スタディー, 『経済学研究』(立教大学), 第72巻第3号, 43-78頁, 2019
- ・IASB 会計基準設定姿勢の変化とその意味—原則主義アプローチの位置づけの変化—, 『商学論究』(関西学院大学), 第3巻第63号, 111-131頁, 2016
- ・最近の不正会計事件から学ぶべきこと, 『会計』, 第189巻第5号, 521-535頁, 2016
- ・IFRS 対応の課題—何がなぜ受入困難か—, 『青山アカウンティング・レビュー』, 第5巻第5号, 72-79頁, 2015
- ・“Controversies over the Development of Japanese Modified International Standards (JMIS)”, Yoshihiro TOKUGA and Noriyuki Tsunogaya, *Korean Accounting Review*, Vol.40, No.2, pp. 299-335, 2015
- ・負債と資本の区分—なぜ解決困難なのか—, 『季刊 会計基準』(企業会計基準委員会), 第44号, 247-250頁, 2014
- ・会計の契約支援機能を踏まえた情報提供のあり方について—公正価値評価の拡大の影響を中心に— (太田陽子との共著), 『金融研究』(日本銀行金融研究所), 第33巻第1号, 29-59頁, 2014
- ・国際会計基準と日本基準のパラダイム, 『別冊企業会計 企業会計制度の再構築』, 20-27頁, 2013
- ・規範的会計研究の方法と貢献, 『会計』, 第183巻第2号, 147-163頁, 2013
- ・円卓討論 会計学研究のアイデンティティと貢献 (特集 会計学研究のアイデンティティと貢献), 『会計』第183巻第1号, 99-126頁, 2013
- ・会計基準における混合会計モデルの検討, 『金融研究』(日本銀行金融研究所), 第31巻第3号, 141-203頁, 2012
- ・IFRS (国際会計基準) の日本企業への影響, JAIRO (Japanese Institutional Repositories Online (Japanese)), 2012
- ・特集・会計基準から財務報告基準へ「日本の会計規範を巡る現在の検討課題とその解決策」, 『会計』, 第181巻第1号, 32-45頁, 2012
- ・特集 会計基準から財務報告基準へ「円卓討論 会計基準から財務報告基準へ」, 『会計』, 第181巻第1号, 107-134頁, 2012
- ・財務報告の変革と財務諸表情報, 『企業会計』, Vol.63 No.12, 34-40頁, 2011
- ・会計政策における「横並び」行動についての一考察—未積立退職給付債務の償却情報を材料として—, (宮宇地俊岳との共著), 『会計・監査ジャーナル』(日本公認会計士協会), Vol.23 No.3, 105-114頁, 2011
- ・会計利益モデルと純資産簿価モデルフロー・ベースからストック・ベースへのパラダイム転換, 『企業会計』, 2011年1月号, 93-102頁, 2011
- ・日本の財務会計研究の棚卸し—国際的な研究動向の変化の中で— (最終報告書, 全247頁), 日本会計研究学会・課題研究委員会, 2010
- ・IFRS への日本の制度的対応—規範的アプローチからの提言—, 『会計』, 第177巻第5号, 9-22頁, 2010
- ・特集・財務会計の課題と展望「円卓討論 財務会計の課題と展望」(平松一夫・坂上学との共著), 『会計』, 第177巻第1号, 91-123頁, 2010

- ・ 公正価値会計の行方—パラダイム転換の分岐点としての金融負債の公正価値評価, 『企業会計』, 2010年1月号, 18-21頁, 2010
- ・ 特集 グローバリゼーションと財務会計研究の継承と発展「円卓討論 グローバリゼーションと財務会計研究の継承と発展」, 『会計』, 第175巻第1号, 111-144頁, 2009
- ・ 特集 国際私法 欧州におけるIFRSの適用状況, 業績報告, 収益認識 《成熟市民社会型企業法制の創造》(公開シンポジウム 会計基準のコンバージェンス—EFRAG議長に聞く「欧州の今」), (辻山栄子・Stig ENEVOLDSENとの共著), 『企業と法創造』, 第6巻第2号, 22-39頁, 2009
- ・ 国際財務報告基準への日本の対応—連単分離を論ずる枠組み—, 『税経通信』, 臨時増刊号, 3-10頁, 2009
- ・ 研究開発投資の公正価値評価—測定値の硬度の低さと測定対象の識別の難しさ—, 『会計』, 第173巻第4号, 21-33頁, 2008
- ・ 近未来における企業会計の変化に対する憂慮, 『季刊 会計基準』, No.19, 127-131頁, 2007
- ・ “Market Reaction to the Disclosure of Unfunded Pension Benefit Obligation Write-Off Policies in Japan.”, *SEOUL JOURNAL OF BUSINESS*, Seoul National University Vol.13, No.2, pp. 59-82, 2007
- ・ 業績報告のあり方について—包括利益か純利益か—, 『企業会計』, 86-93頁, 2007
- ・ “Japan’s Dilemma and Response to IFRS: the European Union or the United States. *Issues in East Asian Economic Development*, organized jointly by Department of Economics and College of Business Administration”, Seoul National University, pp. 103-121, 2006
- ・ EUの国際会計戦略—インターナショナルアカウンティングへの再挑戦と『同等性評価』問題—, 『国際会計研究学会年報』, 2005年度, 45-54頁, 2006
- ・ 研究開発投資の価値関連性とオンバランス問題, 『会計』, 第169巻第6号, 31-44頁, 2006
- ・ 会計基準の理論的整合性と会計情報のレリバンス, 『会計』, 第169巻第1号, 63-78頁, 2006
- ・ 会計基準の理論的統合, 『会計』, 第167巻第1号, 1-13頁, 2005
- ・ 会計基準の国際的統合と日本の対応戦略, 『会計プロGRESS』(日本会計研究学会), 第5号, 37-48頁, 2004
- ・ 資産負債中心観における収益認識, 『企業会計』, 11月号, 35-42頁, 2003
- ・ 引当金の認識と評価に関する一考察, 『日本銀行金融研究所ディスカッションペーパー』(日本銀行金融研究所), 2003-J-17, 1-42頁, 2003
- ・ 負債と資本の区分—代替的アプローチの考察, 『企業会計』, 7月号, 18-25頁, 2003
- ・ 有価証券の全面公正価値評価と比較可能性(学界論叢), 『JICPA ジャーナル』5月号, 50-55頁, 2002
- ・ 韓国会計制度改革—官主導から民主導への転換—, 『商経論叢』(神奈川大学), 第36巻第4号, 129-155頁, 2001
- ・ 退職給付会計と利益概念, 『会計』, 第159巻第3号, 14-26頁, 2001
- ・ 韓国における金融危機と会計制度改革, 『経営研究』(大阪市立大学経営学会), 第51巻第4号, 21-41頁, 2001
- ・ 韓国における会計制度改革とその背景(経営改革と産業競争力), 『韓国経済研究』(九州大学),

第1巻・第1号, 7-27頁, 2001

- ・韓国の会計制度改革—官主導から民主導への転換, 『商経論叢』(大阪市立大学), 第36巻第4号, 129-155頁, 2001
- ・資産負債中心観, 『企業会計』, 第53巻第1号, 56-62頁, 2000
- ・退職給付会計の光と影, 『税経通信』, 2001年第1号, 65-71頁, 2000
- ・収益費用中心観と資産負債中心観, 日本会計研究学会特別委員会『会計基準の動向と基礎概念の研究』(日本会計研究学会), 120-145頁, 2000
- ・会計基準の類型化, 『国際財務報告の新動向』(広瀬義州・田中弘編著, 別冊商事法務222), 69-77頁, 商事法務研究会, 1999
- ・スリランカの会計士制度, (Peter FERNANDPRE との共著) 『企業会計』, 第50巻第9号, 82-85頁, 1998
- ・会計測定値の比較可能性, 『国民経済雑誌』(神戸大学経済経営研究所), 第178巻第1号, 49-61頁, 1998
- ・新年金会計基準の会計データへの影響, 『経済学研究』(九州大学), 第64巻第5・6号, 125-139頁, 1998
- ・日本の企業会計の現状と展望, 『会計理論学会年報』, No.11, 16-23頁, 1997
- ・日本における概念フレームワーク構築の特殊な必要性, (松本敏史との共著), 日本会計研究学会スタディ・グループ(主査:津守常弘教授)『会計の理論的枠組みに関する総合的研究』, 171-190頁, 1997
- ・アングロ・アメリカン型会計基準導入の日本的形態—IASへの対応の仕方を材料として—, 日本会計研究学会スタディ・グループ(主査:津守常弘教授)『会計の理論的枠組みに関する総合的研究』, 159-170頁, 1997
- ・A/L view 採用の制度的帰結, 日本会計研究学会スタディ・グループ(主査:津守常弘教授)『会計の理論的枠組みに関する総合的研究』(最終報告書), 97-106頁, 1997
- ・負債と資本の区分(2)—一問題の全体像—, 『企業会計』, 第49巻第8号, 110-112頁, 1997
- ・負債と資本の区分(1)—負債証券と持分証券の区分—, 『企業会計』, 第49巻第7号, 110-112頁, 1997
- ・国際的視点から見た日本の企業会計の特徴と『企業会計原則』, 『国際会計学会年報』, 1996年度(国際会計研究学会), 21-37頁, 1997
- ・利益数値の国際比較方法, 『會計』, 第150巻第6号, 66-81頁(日本会計研究学会賞受賞), 1996
- ・概念フレームワークの顕現と潜在, 日本会計研究学会スタディ・グループ(主査:津守常弘教授)『会計の理論的枠組みに関する総合的研究』(中間報告), 95-103頁, 1996
- ・会計の国際的調和の測定方法, 『経済論集』(佐賀大学), 第29巻第3・4合併号, 205-226頁, 1996
- ・会計制度・会計実務の国際比較方法試論, 『経済学研究』, 第62巻第1-6合併号, 295-305頁, 1996
- ・会計データのクロスボーダー調整論, 『産業経理』, 第55巻第4号, 48-57頁, 1996
- ・“The Obstacles to International Harmonization of Accounting in Japan”, 『経済学研究』(九州大

- 学経済学会), 第 61 卷第 3・4 合併号, 151-162 頁, 1995
- ・伝統的な負債概念から新しい負債概念へ, 『企業会計』, 第 46 巻第 8 号, 67-74 頁, 1994
 - ・日本型企業会計と会計の国際的調和化に関する一試論, 『経営行動』(経営行動研究所), 第 8 巻第 4 号, 43-51 頁, 1993
 - ・会計基準における二種類の『統一性』, 『産業経理』, 第 52 巻第 4 号, 92-100 頁, 1993
 - ・会計基準の調和化への若干の疑問, 『JICPA ジャーナル』, 第 446 号, 37-41 頁, 1992
 - ・“The Background to the Incident of the Securities Loss Compensations in Japan: Economic, Political, and Cultural Aspects”, 『経済学研究』(九州大学), 第 57 巻第 3・4 合併号, 133-173 頁, 1992
 - ・会計上の認識に関する一考察, 『會計』, 第 138 巻第 1 号, 29-43 頁, 1990
 - ・国際会計の展開とその意義, 『経済学研究』(九州大学), 第 55 巻第 4・5 合併号, 121-135 頁, 1990
 - ・『財務諸表の作成表示に関する枠組み』の検討, 『旬刊経理情報』, 第 583 号, 21-26 頁, 1990
 - ・負債の定義と認識—J. St. G. カーの所説を中心として—, 『海外事情研究』(熊本商科大学), 第 14 巻第 2 号, 49-68 頁, 1987
 - ・『基礎的概念構造』プロジェクトと SFAC シリーズ, 『海外事情研究』(熊本商科大学), 第 13 巻第 2 号, 1-21 頁, 1986
 - ・会計的取引概念に関する一考察, 『熊本商大論集』(熊本商科大学), 第 31 巻第 1・2 合併号, 291-311 頁, 1985
 - ・アメリカにおける負債概念の変化に関する一考察(1), 『経済論究』(九州大学大学院), 第 55 号, 43-75 頁, 1982
 - ・現代アメリカにおける負債会計の考察, 『経済論究』(九州大学大学院), 第 53 号, 115-148 頁, 1981

[ワーキング・ペーパー]

- ・“Survey on Accounting for Goodwill”, Yoshihiro TOKUGA, Toshitake MIYAUCHI, Tomoaki YAMASHITA, 京都大学経済学部ディスカッションペーパー, E-19-003, 2019
- ・経営学分野における研究業績評価, 京都大学経済学部ディスカッションペーパー, J-19-001, 2019
- ・のれんの会計処理に関する調査, (宮宇地俊岳・山下知晃との共著), 京都大学経済学部ディスカッションペーパー, J-18-004, 2019
- ・外生的会計基準の無機能化—ミャンマーについてのケース・スタディー, 京都大学経済学部ディスカッションペーパー, J-18-002 (最新改定 2019 年 2 月), 2019
- ・ミャンマーにおける会計教育の現状と課題—会計制度改革が進む中での会計教育の欠如—, (谷口隆義との共著), 京都大学経済学部ディスカッションペーパー, J-18-003, 2018
- ・会計の契約支援機能を踏まえた情報提供のあり方について—公正価値評価の拡大の影響を中心に—, (太田陽子との共著), 日本銀行金融研究所ディスカッションペーパー(日本銀行金融研究所), 2013-J-9, 2013
- ・“The Relationship between R&D Spending and the Earnings Management of Japanese Electronics

- Companies –A case of earnings management through real management activity–”, Yoshihiro Tokuga, and Shin Tanaka, 京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, No.125, 2011
- ・会計基準における混合会計モデルの検討, 日本銀行金融研究所ディスカッションペーパー (日本銀行金融研究所), 2011-J-19, 2011
 - ・“Big Bath and Management Change”, Yoshihiro Tokuga, and Tomoaki Yamashita, 京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, No.123, 2011
 - ・“Income Smoothing as a Form of Accounting Policy by Managers—A Case Study of Onward Kashiya—”, Yoshihiro Tokuga, and Ayami Sakai, 京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, No.122, 2011
 - ・“Herd Behavior in Accounting Policies – Write-off policy of UPBO in Japan –”, Yoshihiro Tokuga and Toshitake Miyauchi, 京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, No.121, 2011
 - ・“Seeing Through News concerning Unfunded Pension Benefit Obligation Write-Off Policies in Japan –Market Reaction to News on Newspaper–”, Yoshihiro Tokuga, Jong-Seo Choi, and Toshitake Miyauchi, 京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, No.119, 2010
 - ・“Earnings Management by Means of Changes in Accounting Entities –The Case of Tobu Railway Company–”, Yoshihiro Tokuga and Toshitake Miyauchi, 京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, No.108, 2009

[辞書]

- ・『日・英・中・台・韓 5カ国語会計・会計学用語辞典』(編著), 税務経理協会, 2013
- ・『公会計小辞典』(12項目を担当)(亀井孝文編集), ぎょうせい, 2011
- ・『英和・和英 IFRS 会計用語辞典』(5項目担当)(広瀬義州・内藤文雄とともに編), 中央経済社, 2010
- ・『現代経済学事典』(23項目担当)(伊東光晴編), 岩波書店, 2004
- ・『現代会計用語辞典』(5項目担当)(興津裕康・大矢知浩司編著), 税務経理協会, 1999
- ・『会計学用語辞典』(13項目担当)(森川八洲男編著), 税務経理協会, 1998
- ・『会計学辞典 第五版』(3項目担当)(神戸大学会計学研究室編), 同文館, 1997
- ・『会計学大辞典 第四版』(5項目担当)(森田哲弥・岡本清・中村忠編), 中央経済社, 1996

[書評]

- ・退職給付に係る負債と企業行動 (野間幹晴著), 『日経新聞』, 2020年11月3日朝刊 31頁, 2020年11月
- ・会計制度のパラダイムシフト—経済社会の変化が与える影響 (河崎照行編著), 『企業会計』, Vol.72, No.10, 138-139頁, 2020年9月
- ・財務報告における公正価値測定 (北村敬子編著), 『産業経理』, Vol.75, No.1, 90-91頁, 2015年4月
- ・International Perspectives on Accounting and Corporate Behavior, 『企業会計』, Vol.66, 66-67頁, No.10, Springer, 2014年10月号
- ・会計基準と法 (弥永真生著), 『会計・監査ジャーナル』, No.700, 77-78頁, 2013年10月

- ・ 資本金の基礎概念 (山田純平著), 『企業会計』, Vol.64, No.10, 95 頁, 2012 年 10 月
- ・ 事例研究 韓国企業の IFRS 導入 (杉本徳栄・趙盛豹著), 『企業会計』, Vol.64, No.2, 128 頁, 2012 年 1 月
- ・ 会計認識領域拡大の論理 (志賀理著), 『産業経理』, 第 71 巻第 3 号, 126-127 頁, 2011 年 10 月
- ・ 会計基準の研究 (斎藤静樹著), 『企業会計』, Vol.61, No.9, 140 頁, 2009 年 9 月
- ・ アドバンスト財務会計 (大日方隆著), 『企業会計』, Vol.60, No.6, 92 頁, 2008 年 6 月
- ・ 変わる社会、変わる会計 (石川純治著), 『企業会計』, Vol.59, No.4, 30 頁, 2007 年 4 月
- ・ 負債拡大の現代会計 (加藤盛弘著), 『産業経理』, 第 66 巻第 4 号, 80-81 頁, 2007 年 1 月
- ・ 無形資産の会計 (伊藤邦雄著), 『企業会計』, Vol.58, No.11, 128 頁, 2006 年 11 月
- ・ 誠実さを貫く経営 (高巖著), 『日本経済新聞』, 4 月 9 日, 25 面, 2006 年 4 月 9 日
- ・ 利益会計論 (草野真樹著), 『会計』, 第 168 巻第 3 号, 141-144 頁, 2005 年 9 月
- ・ 会計言語論の基礎 (全在紋著), 『企業会計』, Vol.57, No.4, 135 頁, 2005 年 4 月
- ・ 国際会計基準戦争 (磯山友幸著), 『Harvard Business Review』, 第 30 巻第 3 号, 153-154 頁, 2005 年 2 月
- ・ 国際会計入門 第 4 版 (G. G. ミューラー, H. ガーノン, G. ミーク著), 『Harvard Business Review』, 第 30 巻第 3 号, 152-153 頁, 2005 年 2 月
- ・ 会計言語論の基礎 (全在紋著), 『Harvard Business Review』, 第 30 巻第 3 号, 152-153 頁, 2005 年 2 月
- ・ 退職給付の財務報告 (中村文彦著), 『産業経理』, 第 64 巻第 1 号, 80-81 頁, 2004 年 4 月
- ・ 企業倒産予知モデル (白田佳子著), 『企業会計』, Vol.55, No.8, 80-81 頁, 2003 年 8 月
- ・ 年金の会計学 (今福愛志著), 『経済集志』, 第 71 巻, 第 1 号, 93-99 頁, 2001 年 4 月
- ・ 税効果会計詳解 (中田信正著), 『産業経理』, 第 60 巻, 第 1 号, 74-75 頁, 2000 年 4 月
- ・ 企業倒産予知情報の形成 (白田佳子著), 『企業会計』, Vol. 51, No.9, 110 頁, 1999 年 9 月
- ・ ビジネスマン・学生のための会計情報を読むヒント (永野則雄著), 『企業会計』, Vol.50, No.5, 85 頁, 1998 年 5 月
- ・ 連結会計論 (高須教夫著), 『企業会計』, Vol.49, No.6, 95 頁, 1997 年 6 月
- ・ 国際会計の新動向 (平松一夫著), 『経営行動』, 第 10 巻, 第 1 号, 63-65 頁, 1995 年 3 月
- ・ 日本的企業会計の形成過程 (山地秀俊・鈴木一水・松本祥尚・梶原晃著), 『企業会計』, Vol.47, No. 1, 123 頁, 1995 年 1 月
- ・ 財務会計のフロンティア (会計フロンティア研究会編), 『企業会計』, Vol.46, No.5, 108 頁, 1994 年 5 月
- ・ 労使関係と会計情報公開 (山地秀俊稿, 醍醐聰・田中建二編著), 『現代会計の構想』, 102-107 頁, 1990 年

学会活動

[学会報告]

- ・ 第 3 回地域デザイン学会・招待講演「異なる成功の形—京都企業—」, 京都, 2019 年 12 月 1 日
- ・ 日本会計研究学会九州部会第 104 回大会 (九州大学) 特別講演「外生的会計基準の無機能化」, 福岡, 2019 年 7 月 27 日

- ・国際会計研究学会第9回西日本部会（九州産業大学）統一論題司会「会計基準の国際的共通化の進展とローカリゼーション」および統一論題討論座長，福岡，2018年7月21日
- ・“The evolution of accounting regulation in Japan, 2001—2015”, 41st Annual Congress, European Accounting Association, with Masatsugu Sanada, Bocconi University, Milan, Italy. 2018年6月1日
- ・会計理論学会第32回全国大会（旭川大学）統一論題司会「会計の社会的責任」および統一論題討論座長，旭川，2017年9月30日，10月1日
- ・“History, tradition and geopolitics: The hidden truth behind the financial accounting numbers of Kyoto-based companies”, The Ninth Accounting History International Conference, with Masatsugu Sanada, Verona, Italy. 2017年9月8日：
- ・“Preference of ASBJ to systematic amortization of goodwill and full-recycling”, KAA/ JAA / TAA Panel session, 2016 Annual Meeting, American Accounting Association (Invited Speech), with Masaki Yoneyama, New York, U.S.A., 2016年8月9日
- ・“Changes in the International Accounting Standards Board’s Standard-setting Approach: A Focus on the Principles-based Approach”, 2016 Annual Meeting, American Accounting Association, with Masatsugu Sanada, New York, U.S.A, 2016年8月9日
- ・“Controversies over the Development of JMIS,” Korean Accounting Review International Symposium, Korean Accounting Association (KAA) and Korea Accounting Standards Board (KASB), with Noriyuki Tsunogaya, Seoul, Korea, 2015年3月31日
- ・“Association between Accounting System and its Infrastructure”, The 12th World Congress of Accounting Educators and Researchers, with Masatsugu Sanada, Firenze, Italy, 2014年11月15日
- ・AIMS 2013 “Economic Consequences of Fair Value Accounting: A Review of Recent Literature”, with Masatsugu Sanada, Tomoaki Yamashita, Bucharest, Romania, 2013年6月13日
- ・財務管理学会第36回春期全国大会（日本大学）統一論題報告（招待報告）「国際会計基準の資本市場への影響」，東京，2013年6月8日
- ・日本会計研究学会第71回大会（一橋大学）「会計学研究のアイデンティティと貢献：規範的研究の方法と貢献」統一論題報告および討論，東京，2012年8月31日
- ・日本会計研究学会第70回全国大会（久留米大学）統一論題報告「会計基準の充実・発展（会計基準の現状）」統一論題報告及び討論会，久留米，2011年9月18-19日
- ・日本会計研究学会特別委員会シンポジウム（北海道大学）招待報告『財務報告の変革「財務報告と公正価値会計—負債の公正価値評価を中心として—」』，札幌，2010年10月2日
- ・日本会計研究学会第69回大会（東洋大学）課題研究委員会（代表）報告『日本の財務会計研究の棚卸し—国際的な研究動向の変化の中で—』，東京，2010年9月8日
- ・日本会計研究学会第59回関西部会（大阪経済大学）統一論題報告『今、もう一度会計の本質を考える—理論（制度）・歴史・実証からのアプローチ—』，大阪，2009年12月19日
- ・Asian Academic Accounting Association Conference 10th Annual Conference (KADIR HAS UNIVERSITY) ‘Earnings Management by Means of Changes in Accounting Entities -The Case of Tobu Railway Company-’ with Toshitake Miyuchi, Istanbul, Turkey, 2009年11月16日

- ・日本会計研究学会第68回全国大会 課題研究委員会報告（関西学院大学）「日本の財務会計研究の棚卸—国際的な研究動向の変化の中で—」, 西宮, 2009年9月2日
- ・Asian Academic Accounting Association Conference 9th Annual Conference (University of Wollongong) 'The relationship between R&D spending and the earnings management of Japanese electronics companies,' with Shin Tanaka, Dubai, Dubai, 2008年11月29日
- ・日本会計研究学会第67回全国大会（立教大学）特別委員会報告「財務報告の変革に関する研究」（委員長：広瀬義州）, 東京, 2008年9月8日
- ・国際会計研究学会 第24回全国大会（青山学院大学）特別セッション報告「負債と資本の区分」, 東京, 2007年11月25日
- ・会計理論学会第22回全国大会（日本大学）統一論題報告の討論司会「公益性組織の責任と会計規則」 東京, 2007年10月20日
- ・日本財務管理学会第23回秋季全国大会（立命館大学）統一論題報告「[[会計学]: 研究開発投資の視点から」, 京都, 2006年11月18日
- ・日本会計研究学会関西支部（関西学院大学）統一論題報告「研究開発投資の価値関連性とオンバランス問題」, 西宮, 2005年12月17日
- ・日本会計研究学会第64回全国大会（関西大学）統一論題報告及び統一論題討論「会計基準の理論的整合性と情報のレリバンス」, 吹田, 2005年9月15-16日
- ・日本簿記学会 第20回全国大会（岡山商科大学）統一論題報告「収益認識基準の行方と簿記」, 岡山, 2004年8月28-29日
- ・日本会計研究学会第62回大会（近畿大学）特別委員会報告「国際会計基準の導入に関する総合的研究」, 東大阪, 2003年9月10-12日
- ・日本簿記学会第19回大会（高崎商科大学）研究部会報告「簿記教育におけるE-Learningの有用性に関する研究」, 高崎, 2003年8月30日
- ・日本会計研究学会第61回大会（武蔵大学）特別委員会報告「韓国におけるIASへの対応（中間報告）」, 東京, 2002年9月12日
- ・日本会計研究学会九州支部第69回大会（琉球大学）統一論題報告「国際会計基準への対応と影響」, 那覇, 2001年12月22日
- ・国際公会計学会（福岡ガーデンパレスホテル）統一論題報告「国立大学法人の会計基準について」, 福岡, 2001年12月15日
- ・日本会計研究学会第60回大会（大阪学院大学）特別委員会報告「会計基準の動向と基礎概念の研究（最終報告）」, 吹田, 2001年9月20日
- ・日本簿記学会第17回大会（駿河台大学）報告「簿記教育における実験的アプローチの有用性」, 飯能, 2001年9月7日
- ・国際会計研究学会第17回大会（神戸国際会議場）統一論題報告「外生的会計ルールを導入と翻訳的適応」, 神戸市, 2000年10月7日
- ・日本会計研究学会第59回大会（明治大学）統一論題報告「退職給付会計と利益概念」, 東京, 2000年9月20-21日
- ・日本会計研究学会第59回大会（明治大学）特別委員会報告「会計基準の動向と基礎概念の研究（中間報告）」, 東京, 2000年9月19日

- ・日本会計研究学会九州部会第64回大会（熊本学園大学）報告「会計の環境被決定性と環境変化性—翻訳的適応例の考察—」，熊本，1999年7月31日
- ・国際公会計学会第1回全国大会（横浜国立大学）報告「会計の国際比較方法に関する一考察」，横浜，1998年9月12日
- ・日本会計研究学会九州部会第61回大会（宮崎産業大学）統一論題報告「会計の国際化と比較可能性」，宮崎，1998年3月28日
- ・日本会計研究学会第56回大会（同志社大学）スタディ・グループ報告「会計の理論的枠組みに関する総合的研究」，京都，1997年9月10日
- ・国際会計研究学会第13回大会（東亜大学）統一論題報告「国際的視点から見た日本の企業会計の特徴と『企業会計原則』」，下関，1996年12月1日
- ・会計理論学会第11回全国大会（九州大学）統一論題報告「戦後日本企業会計の回顧と展望」，福岡，1996年9月27日
- ・日本会計研究学会第55回大会（広島修道大学）自由論題報告「利益数値の国際比較方法」，広島，1996年9月14日
- ・日本会計研究学会第55回大会（広島修道大学）スタディ・グループ報告「会計の理論的枠組みに関する総合的研究」，広島，1996年9月13日
- ・日本会計研究学会九州部会第52回大会（沖縄国際大学）報告「国際会計基準を巡る論点」，宜野湾，1993年6月26日
- ・日本会計研究学会九州部会第50回大会（西南学院大学）報告「会計基準の国際的調和化への疑問」，福岡，1992年8月1日
- ・日本会計研究学会九州部会第35回大会（熊本商科大学）報告「米国における負債会計の一考察」，熊本，1985年2月23日

[パネリスト]

- ・日本会計研究学会第76回大会（広島大学）「IFRSのエンドースメント」IFRSセッション」，広島，2017年9月24日
- ・日本会計研究学会第66回全国大会（松山大学）公開シンポジウム「企業価値の創造・向上と企業会計」，松山，2007年9月2日
- ・国際会計研究学会第22回全国大会（早稲田大学）公開シンポジウム「インターナショナルアカウンティングへの再挑戦と同等性評価問題」，東京，2005年8月25日
- ・国際会計研究学会第16回大会・パネルディスカッション（北海道大学）「21世紀の国際会計研究のフロンティア」，札幌，1999年7月16日
- ・国際公会計学会第2回九州部会シンポジウム（九州産業大学）「日中会計制度比較」，福岡，1999年3月13日

[座長・司会・コメンテーター等]

- ・第65回日本会計研究学会関西部会（大阪市立大学）統一論題報告司会，統一論題討論座長「最近の不正会計事件から学ぶべきこと」，大阪，2015年12月12日
- ・会計理論学会第27回全国大会（立命館大学）統一論題司会および討論座長，京都，2012年10

月 13 日

- ・ 国際会計研究学会第 29 回研究大会（近畿大学）研究グループ報告司会「配当財源枠決定メカニズムの国際動向」（主査：吉岡正道，中間報告），研究グループ報告司会，東大阪，2012 年 9 月 22 日
- ・ 国際会計研究学会第 27 回大会（大阪学院大学）統一論題コメンテーター『IFRS 導入と EU』，吹田，2010 年 9 月 12 日
- ・ 日本会計研究学会第 69 回大会（東洋大学）ASBJ セッションコーディネーター『IFRS アドプションを見据えた日本の会計基準開発の課題と展望』，東京，2010 年 9 月 10 日
- ・ 日本簿記学会第 26 回大会（京都産業大学）自由論題報告司会，京都，2010 年 8 月 29 日
- ・ 日本会計研究学会第 68 回全国大会（関西学院大学）統一論題司会・座長『会計学の課題と展望』「財務会計の課題と展望」，西宮，2009 年 9 月 3-4 日
- ・ 国際会計研究学会 第 26 回全国大会（法政大学）コーディネーター&コメンテーター『世界同時金融危機と国際会計』研究グループ報告「国際会計基準の収斂に関する主要課題の検討」，東京，2009 年 9 月 5-6 日
- ・ 日本会計研究学会第 67 回全国大会（立教大学）統一論題（第一会場）司会・座長「グローバルゼーションと会計研究の継承・発展」，東京，2008 年 9 月 9-10 日
- ・ 日本会計研究学会第 63 回全国大会（中央大学）統一論題（第一会場）司会・座長「会計基準の理論的統合」，東京，2004 年 9 月 9-10 日
- ・ 国際研究学会第 20 回大会（立教大学）統一論題司会・座長，東京，2003 年 8 月 27-28 日
- ・ 日本簿記学会第 19 回関西西部会（同志社大学）統一論題司会・討論座長「21 世紀における簿記の展開」，京都，2003 年 5 月 24 日
- ・ 日本会計研究学会第 61 回大会（武蔵大学）ミニカンファレンス座長，東京，2002 年 9 月 13 日
- ・ 日本会計研究学会第 51 回関西西部会（東亜大学）コメンテーター「統一論題報告に対するコメント」，下関，2001 年 12 月 8 日
- ・ 日本会計史学会第 19 回大会（専修大学）コメンテーター「辻川論文に対するコメント」，東京，2000 年 10 月 14 日
- ・ The Second Asian Pacific Interdisciplinary Research of Accounting (Osaka City University), International Accounting Section, Chair and Commentator, Osaka, 1998 年 8 月 5 日
- ・ 国際会計研究学会第 10 回大会（早稲田大学）統一論題報告 コメンテーター「会計基準の国際化と日米間協力」，東京，1993 年 7 月 4 日

学術講演・パネリスト・対談（学会以外）

[学術講演]

- ・ 国士舘大学招待講演「異なる成功の形—京都企業—」，東京，2019 年 12 月 3 日
- ・ Special Lecture for the EMBA Students of Singapore National University, 'Hidden Champions in Japan.' Kyoto., 2019 年 11 月 6 日
- ・ Special Lecture for the Students from Chulalongkorn University, 'Management for Long Survival—Case Study of Companies in Kyoto—' Kyoto, 2019 年 9 月 19 日
- ・ 中華人民共和国審計署研修（中国会計検査院）「企業会計について」，京都，2019 年 7 月 2 日

- ・ 京都アカデミアウィーク 2018・招待講演「京都企業—歴史と空間の産物—」, 東京, 2018年10月4日
- ・ 対談「仮想通貨の現状と動向—会計と税制に与える影響—」(「仮想通貨 会計学の視点から」報告と講演者の岩下直行氏との対談), 京都, 2018年7月14日
- ・ 熊本学園大学招待講演「会計基準の国際的共有の進展とローカリゼーション・無機能化—ミャンマーのケース—」, 熊本, 2018年5月18日
- ・ 丸八会招待講演「京都企業の強み—歴史と空間の産物—」, 名古屋, 2018年5月
- ・ 国立彰化師範大学招待講演「京都企業—異なる「成功」の形—」, 京都, 2018年4月23日
- ・ シリウス研究会招待講演「京都企業と伝統工芸社会の価値観」, 東京, 2017年11月22日
- ・ 京大会計人会講演「英 EU 離脱 (Brexit) と米トランプ政権発足が IFRS に与える影響」(講演者の藤沼亜起氏へのコメント), 京都, 2017年7月29日
- ・ 京都大学静岡講演会「世界金融危機後のグローバルマネーの行方—おかねの流れから見る世界経済」(講演者の岩本武和教授との対談), 静岡, 2017年2月4日
- ・ Korean Accounting Review International Symposium 회계학연구 국제 심포지엄『Controversies over the Development of Japanese Modified International Standards (JMIS)』(Seoul), with Noriyuki TSUNOGAYA, Seoul, Korea, 2015年3月31日
- ・ Risk Japan (Guest Speech) “Accounting for risk: Implications of the IFRS’s new hedge accounting model,” Tokyo, Japan, 2014年6月9日
- ・ 組織学会 (広島県立大学, 招待講演)「財務会計研究の棚卸」, 広島, 2013年11月10日
- ・ 難関大学フェスティバル 2013 講演「会計学の面白さと難しさ」, 大阪, 2013年9月23日
- ・ 広島市立大学招待講演「会計の2つの機能と公正価値評価の拡張」, 広島, 2013年1月21日
- ・ 岩手ソーシャルビジネススクール (震災復興のための経営マネジメント) 講演, 岩手, 2012年8月22日
- ・ 財務会計基準委員会 (ASBJ) 招待報告「混合会計モデルの在り方についての一考察」, 東京, 2012年5月18日
- ・ 広島市立大学公開講座招待講演「公正価値多用政策の評価」, 広島, 2012年1月23日
- ・ 早稲田大学招待講演『財務報告の変革と IFRS』, 東京, 2011年7月16日
- ・ 関西大学経済・政治研究所招待講演『IFRS (国際会計基準) の日本企業への影響』, 吹田, 2011年6月13日
- ・ 神戸大学経済経営研究所招待講演「会計政策における『横並び』行動についての一考察」(宮宇地俊岳との共同講演), 神戸, 2011年2月28日
- ・ 広島市立大学招待報告『国際会計基準の理論的特徴と日本企業への影響』, 広島, 2011年2月3日
- ・ 東京財団招待講演「国際会計基準への日本の対応」, 東京, 2010年8月7日
- ・ 新潟大学招待講演「国際会計基準への日本の対応」, 新潟, 2010年2月23日
- ・ 釜山大学招待講演 ‘Development of East Asian Company Case Materials,’ Busan, 2010年2月19日
- ・ 京都大学経営管理大学院・みずほ証券寄附講座特別講座「国際会計基準適用による企業行動への影響」, 東京, 2010年2月4日

- ・広島市立大学招待講演・シンポジウム 『グローバル環境における経営革新』 「国際会計基準 (IFRS) の導入と企業の対応」, 広島, 2010年1月28日
- ・佐賀大学招待講演 「会計の国際化と日本の対応」, 佐賀, 2010年1月23日
- ・「2009台湾會計理論與實務研討會」 (國立成功大學) 招待講演 'IFRS Adoption in Japan, Korea, and Taiwan: Experiences Sharing and Implications for Accounting Education,' Tainan, Taiwan, 2009年12月10日
- ・神戸大学経済経営研究所招待報告 「公正価値概念の明確化と負債のダウングレーディング・パラドクス」, 神戸, 2009年3月14日
- ・復旦大学招待講演 '日本会計制度 - 发展简史-, ' 上海, 中国, 2007年12月26日
- ・熊本学園大学招待講演 「近未来における会計の変化に対する憂慮」, 熊本, 2007年12月15日
- ・住友経営テクノロジー・フォーラム招待講演 「国際会計基準の動向と企業経営」, 2007年12月14日
- ・'Japan's Response to IFRS' at Busan National University, Busan, Korea, 2007年1月30日
- ・同志社大学招待講演 「国際会計基準—日本のトリレンマー」, 京都, 2007年1月15日
- ・'Japan's Response to IFRS: Dilemma between the EU and the US,' at Seoul National University, Seoul, Korea, 2006年12月8日
- ・みずほ証券招待講演 「日本の会計基準の調和化への動きと企業への影響」, 東京, 2006年7月3日
- ・公認会計士協会港会招待報告 「フローとストックの会計理論—2つの会計観と2つの利益概念—」, 東京, 2004年6月17日
- ・久留米大学商学部創設50周年記念事業講演 「会計制度改革」, 久留米, 2001年4月3日
- ・日本銀行金融研究所講演 「会計制度改革—翻訳的適応と経済的・理論的帰結—」, 東京, 2001年2月8日
- ・'The Background of the Securities Scandal in Japan: Economic, Political and Cultural Aspects,' at the University of Washington, Seattle, US., 1992年2月28日
- ・'The Issues of the International Harmonization of Accounting Standards,' at the University of Hawaii, Hawaii, US., 1988年11月18-19日

[パネリスト (シンポジウム)]

- ・Donna Street 教授講演会 (東京理科大学) 司会, 東京, 2011年9月9日
- ・第31回日本公認会計士協会研究大会研究発表コーディネーター 「京都企業のIFRSへの取り組み」, 京都, 2010年7月23日
- ・シンポジウム主催代表者 「国際会計基準への日本の対応と課題」 (京都大学経営管理大学院主催 みずほ証券共催) 「会計研究の役割の明確化と変化—国際会計基準のアドプションが進行する中で—」, 東京, 2009年5月27日
- ・シンポジウム主催代表者 「国際会計基準への日本の対応と課題」 (京都大学経営管理大学院主催 みずほ証券共催) 「会計研究の役割の明確化と変化—国際会計基準のアドプションが進行する中で—」, 京都, 2009年1月9日
- ・第9回 神戸フォーラム招待講演 『日本のもの造り組織指向の会計と国際会計』 「公正価値会計

- がもたらす企業経営・マクロ経済への影響」, 神戸, 2008年1月26日
- ・財務会計基準機構・公開シンポジウム総括コメント「会計基準の整備と概念フレームワーク」, 東京, 2004年7月10日
 - ・第2回 ASBJ オープン・カンファレンスパネリスト「一企業業績の測定と開示」, 東京, 2003年7月28日
 - ・神戸フォーラム講演及びパネリスト「アメリカ不正会計とその分析」 「会計基準設定における姿勢の変化—エンロン事件のもたらす副産物—」, 神戸, 2003年7月12, 13日
 - ・日本公認会計士協会北部九州会・九州大学共催日韓会計シンポジウム主催及びコーディネーター及び討論者「日韓の会計制度改革」, 福岡, 2002年8月24日
 - ・九州産業大学・アジア太平洋センター・ワークショップコメンテーター「韓国経済の現状と課題—財閥の構造改革とベンチャー企業の育成を中心として—」, 福岡, 2002年7月23日
 - ・日韓国際シンポジウム「グローバリゼーション下のアジア企業」(釜山大学・九州大学共催) コメンテーター (コメント論文: Jeong Kyo Kim (Pusan National University), “The Relative and Incremental Information Content of EVA as a Corporate Performance Measure in Korean Capital Market”), 福岡, 2000年7月28日
 - ・ビジネスフォーラムパネリスト (関西大学経済政治研究所主催・第2回公開シンポジウム) 「退職給付会計」, 大阪, 1999年7月4日
 - ・山地秀俊と円卓討論「グローバリゼーションと財務会計研究の継承と発展」, 神戸, 2009
 - ・ビジネスフォーラム (関西大学経済政治研究所主催・第1回公開シンポジウム) 「会計基準国際化対応動向調査」, 吹田, 1998年5月23日
 - ・釜山大学・九州大学共催日韓国際シンポジウム「国際化と経営・会計」 ‘Accounting in Japan and Its Internationalization.’, 1994年5月20日

[座談会・対談]

- ・平成時代の総括と展望【会計編】 会計制度の遍歴と新時代に向けた課題, 週刊経営財務 No.340, 213-28頁, 2019年4月
- ・のれんの会計処理に関する国際的な動向, 季刊会計基準 (企業会計基準委員会), 第48号, 11-33頁, 2015年3月
- ・当期純利益 (純損益) をめぐる最近の議論, 季刊会計基準 (企業会計基準委員会), 第47号, 9-33頁, 2014年12月
- ・対談 IFRS 重要項目に関する戦略的検討 企業会計基準委員会委員長: 西川郁生 vs 京都大学経営管理大学院 院長: 徳賀芳弘, 経営財務, No.3073, 24-33頁, 2012年7月16日
- ・ASBJ 西川郁生委員長との対談「アジェンダ・コンサルテーション」, 東京, 2012年5月18日

[その他]

- ・巻頭言 「AIに代替される職業会計人の仕事」, 税経通信 11月号, 2016年10月
- ・インタビュー特集大学教授に聞く「国際会計研究・混合会計モデル 近畿 C. P. A. ニュース」, 第652号 (10月号), 2013年10月10日
- ・インタビュー負債・資本の区分をめぐる論点, 企業会計, 2008年1月号, 73-79頁, 2008年1

月

- ・新聞 経済教室, 日本経済新聞, 10月24日, 22面, 2005年10月24日
- ・評論 「産業政策・金融政策とマクロ会計政策」, 企業会計, 第53巻, 第9号, 84-85頁, 2001年9月
- ・評論 「国際的承認という『政策目的』」, 企業会計, 第53巻, 第8号, 84-85頁, 2001年8月
- ・評論 「マクロ会計政策の評価—『政策評価』は可能か—」, 企業会計, 第53巻, 第7号, 84-85頁, 2001年7月
- ・評論 「会計の国際比較方法試論」, JICPA ジャーナル, 第486号, 76-77頁, 1996年1月
- ・研究ノート 「株価指標 (PER) の日米比較調整への試み」, 九州大学国際経済構造研究会編『経済・経営構造の国際比較試論 (九州大学出版会)』, 57-73頁, 1995年3月
- ・評論 「Salon de Critique (我国における負債会計研究に対する批判)」, 企業会計, 第40巻, 第3号, 122-123頁, 1988年3月